

★\*...-----\*★

メールマガジンで語り伝える

「今を生きるスターリィマンの物語」～感謝の風船ラブレター～

2013.09.19 vol.02

★\*...-----\*★

本メールマガジンは、スターリィマンのお話の創作者  
はせがわ芳見とご縁のある大切な方々に心を込めて  
毎回9の付く日にお届けさせていただいております☆  
配信停止をご希望の方は、お手数ですが  
yoshimi@dream-hasegwa.comまでご連絡ください。

---

☆ごあいさつ☆

---

皆様、こんにちは!はせがわ芳見です。  
朝夕すっかり涼しくなって  
秋の気配が感じられるようになりましたね。

この週末にやって来た台風18号、  
日本各地に猛威を奮い、  
甚大な被害をもたらしました。

被害に遭われた皆様が、  
一日も早く、通常の生活に戻れますように  
心から願い、お祈り申し上げます。

さて、先日の9月9日に  
メールマガジンの創刊をご案内させていただいた際、  
たくさんの方々より温かい応援メッセージを頂きました。

このメールマガジンを楽しみに待っていてくださる方が  
いらっしゃることを知って、感謝と喜びがいっぱいで  
有り難い心のつながりを嬉しく思う毎日です。  
皆様、本当にどうもありがとうございます。

それでは、第2回のメールマガジン  
「今を生きるスターリィマンの物語」～感謝の風船ラブレター～を  
心からの感謝をこめて、お届け致します。  
最後までどうぞ宜しくお願い致します☆

---

☆第1話 人の役に立つ「利他の心」で生きる☆

日本理化学工業株式会社 大山泰弘会長

第1章 大山泰弘会長との出会い

---

大山会長とはじめてお会いしたのは、

2010年10月の事でした。

人と経営研究所の大久保寛司さん、

ジャーナリストの瀬戸川礼子さんの取材にご同行させて頂き、

主人と私と娘の3人で川崎工場見学にお伺いしました。

◎瀬戸川さんのブログ／きれいごとでいこう!

[http://76653926.at.webry.info/201010/article\\_12.html](http://76653926.at.webry.info/201010/article_12.html)

著書「日本でいちばん大切にしたい会社」でご紹介されている

大山泰弘会長にお会いできるなんて、すごい!夢のようね、

そう言いながら、私たち3人は、この出会いにわくわくしていました。

当日、会社の応接室のドアを開けて入っていらしゃった大山会長は、

仏様のような穏やかな、慈愛に満ちた笑顔で、突然にお伺いした

私たち3人の事も、快く迎えてくださいました。

瀬戸川さんの取材にお応えする大山会長は、とても謙虚で、実直で、

お話される一言一言が私の心にすうっと沁みこんできました。

50年以上も障がいを持った人たちと共に働きながら歩んできた、

人を幸せする生き方をお聞きして、会長はまさに、

スターリマンのような方であると感じ、とても感動しました。

私は、出会えて本当に有り難いと、心の中で何度も手を合わせてしまいました。

取材のお話を伺った後、実際に、障がいを持った方々が働きやすいように

随所に工夫が凝らされた工場内を見学させて頂きました。

ひたすら黙々と真面目に働いていらしゃる工場内のお一人お一人の姿から、

先ほど大山会長が丁寧にお話して下さった

「働くことが幸せ」「人の役に立つ喜び」がひしひしと伝わってまいりました。

「例えば、会ったら明るい笑顔で元気に挨拶する。当たり前のことですよ。

でも、実際にあなたはいつも挨拶をしていますか?

一生懸命チョコを作ることに集中出来ますか?

今日は終わりますと声をかけられるまで、毎日黙々と楽しく仕事出来ますか?

与えられた仕事をひたすら続けられますか?」

大山会長のお言葉が何度も何度も頭の中で繰り返され、

働く事の意味を改めて考えさせられました。

皆さんがひとつずつお仕事を覚えて、段々と出来る事が増えていって、昨日より今日、今日より明日と成長の喜びが毎日積み重なった結果、製品となった色とりどりのチョークは、幸せがいっぱい詰まっていてきらきら輝いて見えました。

このチョークを使って、学校で学んでる子ども達に、どうやってチョークが作られているのか、是非知ってほしいと思いました。きっとひとつのチョークが出来上がるまで、一生懸命に毎日お仕事をなさっている方々の存在を知った子供たちは、感謝の気持ちが生まれて、もっと学ぶ事に真剣に取り組むようになるでしょう。

工場見学後、大山会長の有り難いお心遣いで、従業員の皆さんの昼食にお邪魔して、スターリマンの作品の朗読をさせて頂きました。真剣に聴いてくださる皆様の眼差し、お気持ちが伝わって、娘は今までになく緊張してしまったようでした。

このような、大山会長との出会いから、8か月が過ぎたころ、今度は我が家に、大山会長とお嬢様で秘書の真里さんがお出でくださいました。2011年3月11日に起きた東日本大震災で被災した東北の子ども達に、スターリマンの紙芝居を贈る活動をスタートしようと準備をしていた5月31日の事でした。

スターリマンの紙芝居ライブを観てくださった大山会長は、窓にお絵描きが出来るチョーク「キットパス」で私たちの活動を応援してくださることになりました。

◎キットパス(環境固形マーカー)◎

<http://www.rikagaku.co.jp/items/kitpaslist1.php>

◎スターリマンの夢を叶えるキットパスセット◎

[http://www.dream-hasegawa.com/shop/html/products/detail.php?product\\_id=175](http://www.dream-hasegawa.com/shop/html/products/detail.php?product_id=175)

後日、大山会長の温かなお気持ちが込められた、嬉しい応援メッセージも頂き、私たちの心を励まし勇気づけてくださいました。

---

脳神経科の先生が、人間はみんな、周りの人に役立つ事に幸せを感じる「共感脳」を持っているのです、と言っています。すべての人を幸せにするために、スターリマンが存在します。

人と人とのつながりの中で、周りの人に役立って、人を輝かせ、また、自分も輝く人になるために、みんなの夢を叶える九つの風船を届けながら、この地球に戻って来てくれたのです。

はせがわファミリーの紙芝居をご覧になって出来た、  
みんなの夢をキットパスで描いていただければ、  
その夢は「きっとパス」して叶います。  
窓ガラスに描いて簡単に消せるキットパスは、  
人間の本能と言われるらく書ができるので、仲間も出来ます。  
みんなでキットパスで描きましょう。

皆さんの夢を叶え、また被災地の皆さんに温かいエールが届きますよう、  
そしてこの活動が日本全体に広がり、  
各地でスターリィマンが輝いて活躍する社会になることを願っています。

---

被災地の子ども達に紙芝居をお贈りする時、  
「キットパスで夢を窓にいっぱいいっぱい描いたら、  
みんなの夢、きっとパスするよ!きっと叶うよ!」と伝えながら、  
キットパスも一緒にプレゼントしています。

◎スターリィマン紙芝居プロジェクト◎

[http://www.dream-hasegawa.com/0311\\_kamishibai/activity\\_report.html](http://www.dream-hasegawa.com/0311_kamishibai/activity_report.html)

<http://starryman.cocolog-nifty.com/blog/2011/08/85-337f.html>

毎回、「えー!窓にお絵描きしていいの?怒られない?」と、  
子ども達が戸惑いながらも喜んでくれると本当に嬉しくなります。

また、キットパスを使ったイベントも各地で展開中!  
子ども達と一緒にキットパスでお絵描きをすると、  
幸せな笑顔の輪がどんどん広がっていきます。  
子ども達だけでなく大人も夢中になれる素敵な贈りものです。

◎キットパスイベント@和カフェめぐり(2011年8月)◎

<http://starryman.cocolog-nifty.com/blog/2011/08/post-9bc5.html>

◎キットパスイベント@沖縄県立博物館・美術館(2013年5月)◎

<http://starryman.cocolog-nifty.com/blog/2013/05/post-01b8.html>

大山真里さんには、はせがわいさおが描くキットパスの作品の  
「ウィンドウギャラリー」の企画も数々展開して頂いています。

◎ウィンドウギャラリー@和カフェめぐりさん(2011年8月)

[http://www.rikagaku.co.jp/s\\_gallery/?id=115](http://www.rikagaku.co.jp/s_gallery/?id=115)

◎ウィンドウギャラリー@匠カフェottoさん 第1弾(2013年3月)

[http://www.rikagaku.co.jp/s\\_gallery/?id=218](http://www.rikagaku.co.jp/s_gallery/?id=218)

◎ウィンドウギャラリー@匠カフエaottoさん 第2弾(2013年4月)  
[http://www.rikagaku.co.jp/s\\_gallery/?id=222](http://www.rikagaku.co.jp/s_gallery/?id=222)

◎ウィンドウギャラリー@匠カフエaottoさん 第3弾(2013年5月)  
[http://www.rikagaku.co.jp/s\\_gallery/?id=230](http://www.rikagaku.co.jp/s_gallery/?id=230)

これからも夢と笑顔をつなぐわくわくなコラボレーションを通して、  
「キットパス」でたくさんの風船を届けていきたいと願っています。

---

☆次回予告☆

第2章は9月29日(日)配信予定です!

---

さて、次回の第2章は、  
「大山会長の家族の原風景」についてお伝えいたします。

大山会長のお父様、お母様のことや、  
現在に至るまでのお話などをインタビューさせていただきました。

配信は、9月29日(日)を予定しています。  
皆様、どうぞお楽しみに☆

---

☆大切なお知らせ☆

「今を生きるスターリマンの物語」講演会  
スターリマンの誕生日・11月5日に開催決定!

---

今を生きるスターリマンのような方々のお話を  
皆様に直接お聞きいただきたい。  
そして、素晴らしい感動を分かち合いたい。  
そんな願いを込めて、講演会を開催することにしました。

第1回目の講演会は、大山会長をお迎えして、  
11月5日・スターリマンの誕生日に開催いたします!

日本各地で数多くのご講演をなさっている大山会長ですが、  
普段はなかなかお聞き出来ないようなお話を  
スターリマンならではの角度でお届け出来たらと思っています。

この講演会を通して、大山会長の輝く生き方や  
皆様の心の中にある“スターリマン”に  
是非、出会っていただけたら嬉しいです。  
皆様のご参加を心からお待ちしています☆

---

☆後記☆

---

第2回目のメールマガジン、  
いかがだったでしょうか？

是非またご意見や感想など、  
お寄せいただけますと嬉しいです。

今夜は十五夜。  
一年で、お月様の一番美しい日です。

今宵はあなたの大切な人  
「スターリィマン」を想いながら、  
日本人の美しい心を育ててくれたお月様に  
幸せを願ってみませんか？

それでは、素敵な夜をお過ごしください☆

はせがわ芳見

◎はせがわ芳見ブログ◎

<http://starryman-smile.cocolog-nifty.com/>

---

発信元:ドリーム工房☆はせがわ はせがわ芳見(よしみ)  
〒330-0851 埼玉県さいたま市大宮区櫛引町1-422-2  
TEL/FAX:048-671-7708 e-mail:yoshimi@dream-hasegawa.com  
公式サイト <http://www.dream-hasegawa.com>  
ブログ <http://starryman-smile.cocolog-nifty.com/>

---

★\*...-----\*★

メールマガジンで語り伝える

「今を生きるスターリイマンの物語」～感謝の風船ラブレター～

2013.09.29 vol.03

★\*...-----\*★

本メールマガジンは、スターリイマンのお話の創作者  
はせがわ芳見とご縁のある大切な方々に心を込めて  
毎回9の付く日にお届けさせていただいております☆  
配信停止をご希望の方は、お手数ですが  
yoshimi@dream-hasegwa.comまでご連絡ください。

---

☆ごあいさつ☆

---

皆様、いつもありがとうございます。  
はせがわ芳見です。

今月9日より創刊したメールマガジンも  
本日29日で3回になります。

すっかり秋の風に…  
特に朝夕はめっきり涼しさを増し、  
もう少しで10月・神無月を迎えます。

読書の秋、芸術の秋、実りの秋、  
感謝の秋でもありますね。

今年も残すところあと3か月。

今年の自分を振り返りながら  
来年のことも思いながら  
1日1日を大切に過ごしていきたいと思っております。

それでは、本日のメールマガジンも  
最後までどうぞ宜しくお願いします☆

---

☆第1話 人の役に立つ「利他の心」で生きる☆  
日本理化学工業株式会社 大山泰弘会長

第2章 大山会長の家族の原風景

---

大山会長から贈って頂いた「利他のすすめ」のご本には、

「人生とはシンプルなものだ。この世に生を受けて78年。  
自らの人生を振り返ったとき、「利他のこころ」で生きていれば、  
必ず幸せになれる。これに尽きるものです」

と、書かれてあります。

私は、著書からは見えない、  
大山会長を育んできた原点であるご家族のことや、  
現在に至るまでのお話をお聞きするために、  
8月23日に本社兼ご自宅に三人でお伺いさせていただきました。

---

Q1. 会長のご家族(お父様)の事を教えてください。

---

私は、父「要蔵」と母「はな」の元、8人兄弟の次男として、  
昭和7年11月15日に大田区蒲田に生まれました。

父は、明治36年生まれで蒲田の農家出身です。  
11人兄弟の末っ子だったので、  
私には、伯父さんや伯母さんなど親戚も多く、  
私の兄妹も多くて、大家族で育ちました。

幼少よりハイカラ好きだった父は、  
当時は珍しかった自転車に乗りたくて、  
小僧さんになれば、大好きな自転車がいつも乗れるからと  
小学校の卒業を待ってられず、丁稚奉公に行ったんです。

そして、念願の小僧さんになると、毎日、みんなが起きる前に、  
自転車のトレーニングをして体を鍛えてはよく、  
アマチュアの自転車競技大会に出場していたそうです。

大会で優勝して賞品をたくさん貰うと、  
親戚のみんなに配っていたそうで、  
みんなが喜んでくれるのが嬉しかったみたいです。  
そんな父が若い頃の話、私は父からではなく、  
親戚の人から話を聞きました。

それから昭和12年に、父は現在の東邦大学医学部の近くに、  
文房具と雑貨の卸業を始めました。  
当時医専の先生から、アメリカからチョークを輸入してほしいと依頼され、  
取り寄せた所、アメリカのチョークは、  
石灰ではなく炭酸カルシウムで出来ていることを知ったんです。



その後、日本に良質な炭酸カルシウムが豊富にあることが分かり、蒲田に工場を建て、日本で初めて炭酸カルシウムで出来たチョコレートの製造を始めました。  
だから、会社を「日本理化学工業」としたそうです。

しかし、せっかく身体に害のない日本製のチョコレートを作っても、安価な石膏のチョコレートの方が売れる時代だったので、厳しい状況が続きました。

努力の甲斐あって、昭和26年に文部省からの斡旋(あっせん)を頂いてから少しずつ売れるようになりました。

父はチャレンジマンであったので、色々と工夫して、国内トップのメーカーへと会社を発展させたんです。  
私は、幼い時からずっと努力家の父を尊敬していました。

---

Q2. 会長のご家族(お母様)の事を教えてください。

---

母は明治28年生まれ。  
父と母は、夫唱婦随(ふしょうふずい)の夫婦でした。

母はいつも父を助けるために、毎日遅くまで卸業の方を手伝って、私たち兄弟8人のお世話は、女中さんがしてくれていました。

夏になると、私たち兄弟は、母の実家がある千葉の鴨川で、祖父母と一緒に過ごしていました。  
毎年、兄弟で楽しく過ごした思い出があります。

外房の海で、泳ぎも魚釣りも得意になった私は、小学校6年生の時、大きな黒ダイを釣りあげたことを作文に書いて、先生に褒められたことが嬉しく、釣りが好きになりました。

今はなかなか魚釣りに行く機会も少なくなって、竿をクラブに替えて、ゴルフを楽しんでいます。(笑)

---

Q3. 会長が現在に至るまでの歩みを教えてください。

---

私の人生のスタートは逆境でした。  
日比谷高校から一浪して中央大学法学部へ入りましたが、私は大学を卒業したら教師になる夢があり、教授からは、大学に残って教授の道を約束されていました。

しかし、社長の父が病気になったため、教師の夢をあきらめ、父の会社に入ることになったのです。

友達たちは、一流企業や官僚などに就職したのに、私は一生チョコレート屋と思い悩む事もありました。でも、逆境を甘んじて受けて最大限自分を生かす人生にしようと思った時、“転機”が訪れました。

近くの養護学校の先生が、知的障がいの生徒を就職させてほしいとやって来ました。2度も断ったのですが、それでもその先生は諦めずにお問い合わせに来ました。

3度目のお願いの時、

「この子たちは15歳で、親元を離れて、遠い施設に入ったら、二度と働くことを知らずに、施設で一生を送ることになるので、どうか一度だけ、働く経験をさせて頂きたい」

と頭を何度も下げられました。

先生の思いに心を動かされた私は、働く経験だけであればと承諾しましたが、

他の従業員から

「こんなに真面目に頑張っている良い子ならば、私たちが面倒を見ます。だからこのまま働かせてあげてください」

とお願いされ、就職してもらうことにしました。

これが、障がい者雇用の始まりでした。あれから、50年以上になります。

私は、障がい者の皆さんから多くの事を学びました。働くことで人の役に立ち、幸せになる。障がい者の働く姿こそ、本当の幸せを求める姿であることを知ったのです。私はその幸せを守るために生きてきました。そして、私は自分が幸せと言える人生を手にしたのです。

どんな人も、人の役に立ちたい。  
誰かの役に立って人は幸せになる。  
利他のこころの積み重ねこそ、  
誰もが幸せになることであることを、悟ったのです。

---

☆インタビューの最後に会長ご夫妻の事を教えて頂きました☆

---

大山泰弘会長ご夫妻は、  
昨年11月18日に金婚式を迎えたそうです。

51年前、結婚式に出席した障がい者の従業員の皆様が、  
お祝いにと「赤とんぼ」のうたを歌い、  
出席者全員が大きな感動に包まれました。

「あの結婚式の日から、毎年、結婚記念日を重ねるごとに、  
従業員みんなが、私たちの結婚記念日を覚えていてくれていて、  
声をかけてくれるんです」

仏様のような優しい輝きを放ちながら、  
会長は幸せいっぱい笑顔を見せてくれました。

---

☆次回予告☆  
第3章(最終章)は10月9日(水)配信予定です!

---

次回はいよいよ、大山会長にお書き頂いた  
大山会長にとってのスターリイマンに宛てた  
感謝のラブレターをご紹介します。

配信は、10月9日(水)を予定しています。  
皆様、どうぞお楽しみに☆

---

☆後記☆

---

10月は、今を生きるスターリイマンの4人の方に  
インタビューをさせて頂くことになっております。

あらためて、皆様とのご縁の始まりを思い返し、  
「本」から頂いたご縁の多さを強く感じました。

ふと本屋さんで、手にした一冊の本を読み、  
この作家に会いたい!と起したアクション。

また、とある本に掲載して頂いたことで、  
ご連絡を頂き、出会えたご縁。

「本」を通して、なんと素晴らしい出会いを、  
何度も何度もつないでいただいたことでしょうか。

さあ!これから読書の秋です。  
とっておきの一冊を見つけてみませんか?

あなたの運命がよきご縁へと導かれ、  
たくさんの幸せが輝きますように…  
秋の星たちと祈っています☆

最後まで、お読み頂きまして、  
誠にありがとうございました。

はせがわ芳見

◎はせがわ芳見ブログ◎

<http://starryman-smile.cocolog-nifty.com/>

---

発信元:ドリーム工房☆はせがわ はせがわ芳見(よしみ)  
〒330-0851 埼玉県さいたま市大宮区櫛引町1-422-2  
TEL/FAX:048-671-7708 e-mail:yoshimi@dream-hasegawa.com  
公式サイト <http://www.dream-hasegawa.com>  
ブログ <http://starryman-smile.cocolog-nifty.com/>

---

★\*...-----\*★

メールマガジンで語り伝える

「今を生きるスターリイマンの物語」～感謝の風船ラブレター～

2013.10.09 vol.04

★\*...-----\*★

本メールマガジンは、スターリイマンのお話の創作者  
はせがわ芳見とご縁のある大切な方々に心を込めて  
毎回9の付く日にお届けさせていただいております☆  
配信停止をご希望の方は、お手数ですが  
yoshimi@dream-hasegwa.comまでご連絡ください。

---

☆ごあいさつ☆

---

皆様、お元気でお過ごしですか？  
いつもメールマガジンを読んで頂きまして、  
誠にありがとうございます。

20年に一度の式年遷宮が行われている伊勢神宮で、  
新しい正殿にご神体を移す「遷御の儀」が  
2日に内宮にて、5日に外宮にて斎行されました。

8年間にわたる祭事のクライマックスとなる  
この儀式により、また次の世代へと  
日本の大切な心と感謝の祈りが受け継がれて行きますね。

さて、心新たに実りの秋を迎えた今日。  
「今を生きるスターリイマンの物語」の  
第1話が早くも最終章となりました。

それでは、大山会長のスターリイマンに宛てた  
感謝の風船ラブレターをお送りいたします。

---

☆第1話 人の役に立つ「利他の心」で生きる☆  
日本理化学工業株式会社 大山泰弘会長

第3章 大山会長のスターリイマンに宛てた感謝の風船ラブレター

---

私はもう80歳。  
そして今最高の幸せを感じています。

こんな幸せを誰が導いてくれたか  
感謝の手紙を書こうと考えた時、

私は小説『二十四の瞳』の  
「先生は心を美しくする彫刻家」という言葉から  
教師になる夢を持ちましたが、

父が病に倒れ、8人兄弟の上の方で、  
大学卒業後仕方なく父のチョーク会社に入り、  
逆境と思った人生でしたが、

それから50余年を振り返ると、  
人生の折々に、スターリイマンが、  
信頼、友情、愛、希望、未来、勇気、元気、幸せの風船を  
届けてくれたからだとい気づきました。

はじめは、スターリイマンが昭和34年の秋、  
知的障害者の養護学校の先生を生徒の就職を頼みに  
連れて来てくれました。

先生の3度目の来社の言葉の  
「生徒たちは卒業すると施設に入らなければならないので、  
一生に一度、卒業までに働く経験をさせてもらえませんか」で  
2週間の実習を受け入れ、

そして、二人の一生懸命働く姿から、  
「15歳で親元を離れて施設で暮らすのはかわいそう。  
私たちが面倒をみますから」の社員たちの言葉で、  
翌年春、同情から就職をさせました。

それから数年後、法事で出遭った  
禅寺のご住職に話かけた質問に対し、

人間の究極の幸せ  
・人に愛されること、  
・ほめられること  
・役に立つこと  
・必要とされること

の教えをいただき、

「働いて人の役に立ち必要とされる会社でこそ  
人間を幸せにしているのです」の言葉に  
障害者多数雇用を決意したのでした。

昭和48年「心身障害者多数雇用モデル工場融資制度」ができ、労働省より知的障害者のモデル工場をつくってほしいと頼まれてつくったのが、川崎工場です。

これには、土地は川崎市が安く貸して下さり、仕事は東京青年会議所の友人のバイオニア社長の松本さんの応援もあって、多くの人の信頼と愛と友情によってできたのです。

そして、モデル工場第1号となったことで海外の障害者雇用の視察のチャンスを、雇用実績から渋沢栄一賞をいただいた結果、

障害者雇用で、たとえ施設にいる重度の障害者でも役に立って働けて社会的自立のできる「皆働社会」の考えに至り、夢と希望を持てる未来への提言ができるまでになったのです。

また、法政大学の坂本教授が『日本でいちばん大切にしたい会社』の中で当社を紹介してくださって「カンブリア宮殿」に出演でき、皆働社会を提言する勇気をもらいました。

さらに、チョーク業界がホワイトボードマーカの普及により減退していく中、川崎市の産学連携助成制度で早稲田大学の先生の応援をいただき、

固形の粉の出ないキットパスができ、ガラスに書けて濡れた布で消せることから、子育てにも役立つチョークとして評価もいただき、チョーク製造業の展望も開け元気をもらいました。

人の幸せのために頑張れば、この世ではスターリマンが9つの風船を折々に届けてくれて幸せな人生にしてくれることがわかりました。

スターリマンさん、心から感謝申し上げます。

日本理化学株式会社  
会長 大山 泰弘

---

☆次回予告☆

「今を生きるスターリマンの物語」

第2話は10月19日(土)配信予定です!

---

「今を生きるスターリマンの物語」

第1話の大山泰弘会長の物語は、  
いかがだったでしょうか?

この感謝の風船レターを通して、  
いつも見守り、支えてくれている  
スターリマンの存在を作品の中だけでなく、  
皆様の心の中でも感じていただけたら嬉しく思っています。

さて、次回はいよいよ第2話に突入します。  
配信は、10月19日(水)を予定しています。  
皆様、どうぞお楽しみに☆

---

☆後記☆

---

なんと10月は、今後ご紹介させていただく  
4名の今を生きるスターリマンの皆様に  
インタビューをさせていただくことになっています。

第2話 心ネットワーク 主宰 上甲 晃 氏  
第3話 人と経営研究所 所長 大久保 寛司 氏  
第4話 人とホスピタリティ研究所 高野 登 氏  
第5話 アイエスエフネットグループ代表 渡邊 幸義 氏  
お一人お一人のスターリマンの姿に感動し、涙し、  
感謝が身体中に溢れ、これ以上ない贅沢な幸せな時間を  
たくさんたくさん頂いております。

皆様の素晴らしい生き方を精一杯にお伝えできるように、  
心を清め、心を磨き、もっともっとピュアになって  
スターリマンの心を受け止めながら、  
これからも一生懸命に向き合っていきたいと思います。  
皆様もどうか輝く一日一日をお過ごしくださいね☆

それでは、今回も最後までお付き合い頂きまして、  
本当にありがとうございました!

はせがわ芳見